

0163

者信受	著	發
者信發	地信發	於
9月21日	9時	30分
京都連絡御長官	金要司令官	
朝依頼電第八三四號		
フヨウ電第一四三號		
一本二〇日一八時引上那人金山塔由二五〇〇		
名ナキ		
二明二十日興安丸五五〇〇名カミシウ丸		
一五〇〇名計七〇〇〇名ヲ搭載シ出港ノ		
予定		
作者		
主件		
糸菜		
書		

五

人

五

五

五

緊急

京城連絡部長官

釜要電第一五〇号

一、本三日、ユウアンルニ依リ、六百名

カンシウ丸ニ依リ、千五百名、出發セリ。

二十九時現在、引上邦人、釜山滞留者、九千名也。

21.10.21

0164

天 2045

第七師團宛

発信人 第一連絡班
大分ゼイイカ

9-3 (GEMVER-3)

一。師團並ニ京城師管区連絡班ト折衝セリ

パラグラフBニ関スル物

一。師團ハ二五%ノ武器ヲ所持シアルモ米軍進駐ニ際シ天

安ニ更ニ一五%ノ武器ヲ残スコトホツシアリ

京城師管区ハ一〇%ヲ保持シアルノミナリ

パラグラフCニ関スルモノ

一。師團ハ二週間余ノ馬糧ト共ニ馬匹ヲ一五三ニラ有ス

パラグラフ三ーABニ関スルモノ總テノ觀察ヨリ状況ハ

筆記費込

0165

																				頼ル満足スベキモノナリ 受信將將狀元ノ返書ヲヒケフ
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------------------------------

0166

件名	受翰者	官長	發翰番號	發翰印
		AB	京連	
別送電報	70	主任者	高級參謀	指定
	參謀長			緊急
發翰者	發翰者	帶連	年月日	普通
				年月日
乙未急電	發翰者	帶連	年月日	發翰
				取取者
送	發翰者	帶連	年月日	起案
				取取者
送	發翰者	帶連	年月日	陸軍

0167

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0168

<p>至急 釜山 22 11 60 22 12 45 22 12 45</p>	<p>京城連絡部長官</p>	<p>釜要 一五七</p>	<p>一本二十一日夕雲仙丸(三〇〇名) 明二十三日朝興安丸</p>	<p>(五五〇名) 徳壽丸(二〇〇名) 出港ノ予定</p>	<p>二右ヨリ韓商邦人ハ二三日迄ハ一掃ヲ得ル見込ニ</p>	<p>通電先 大田 京城</p>	<p>24/9 一三五〇渡辺少尉ヨリ「大佐ニ電請 マ景共ニ釜要ニ対シテ電才 早クテ以テ 一 其ノ行先ヲ通報スル如ク打電ス」</p>
---	----------------	---------------	-----------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------	---

0170

主任

副官

石

取扱番

2

班

秘

備考 赤線ハ判讀トス

外務省

近々始ラル、軍隊輸送ニ関シ第四埠頭使用スル件 及 軍隊ノ一時的宿營地、爲セイメンシヨウシヤ 及 釜山鎮シヨウシヤヲ日本軍ニ於テ適用シ得ル 如ク 接中ニ付 承知相成リ 度ク 通電先 太田・京城 街

釜山 第一五八

京城連絡部長官宛

發信地	釜山	宛	宛	發信者	釜山
種類	至急	時間	22日	10時	45分
備考		備考	40分	備考	42分
					富井

北

奉 陽 29 13 20

五藏聖書送 六四三

九月七日以前朝鮮ニ於テ貯金セシモノハ
今後特別ノ規定ヲ設ケラレザルナリ

此ニ於テ受領可能ナル旨 總督府

簡言明セリ 亦九月七日以後ノモノハ

國際關係ニ處理ヲ要スル問題ニミテ

目下不明ナリ

九月七日

館長 野村浩一

印

0171

316

長官

支那

支那

種類	緊急
発信地	父山
受信地	父山
発信者	父山
受信者	父山
時刻	1時00分
電報掛	00分
電報料	00分
伝書料	00分
伝書料	00分

京城連絡部長官宛
發信者 父山
山要要塞員受

摘要 電第一六一七號

本年八月日本軍康近輸送ニテモ本年駐屯地域外、

手及ビ密陽附近ニ一時滞留セシメ船舶ヲ入港ニ伴ヒ搭載

人員ニ應ズル如ク兵力ニ逐次鐵道輸送スル意圖如シ

通電先大田京城、釜山要塞

通電先大田京城、釜山要塞

備考 赤線八割讀下ス

0172

任 官 站 謀 西

書

發號

連 官 長

備考 亦照八判帳下

此件水成少付アリ、
 此際出、名、多、
 通、上、回、谷、
 三、四、の連絡
 前、三、の連絡
 一、二、の連絡

六三時現在、
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

前、三、の連絡
 一、二、の連絡

種類	至急
發信地	釜山
發信所	釜山
受信所	釜山
發信時間	23日 12時 45分
受信時間	23日 12時 10分
主務	發信者 釜山司令部
日時	23日 12時 45分
作業手	朝本

0173

XB

長官 連 帶

取扱
普通

備考
前記
八
月
八
日
八
時
三
分

種類	緊急	發送所	23日	15時	30分	依頼	業務	作業手
發信地	釜山	通信所	23日	17時	25分	電報掛	日	時
京成連絡部長佐野		發信者		釜山同友會				
釜山電第一七五號								
本二三日一三時新既當船中ヨウハク丸(一三〇)トシテ落セリ搭載力ヲ約八〇〇名ニシテ釜山仙崎間オリ返シ廻航ナラズ定								
通電先 大田京成								

0174

長官 25
 連 官
 備

種別	緊急	23日	15時	30分	依業務	作業手
発信地	大田	23日	16時	00分	電報掛	00分

京塚連絡部長宛宛

発信者

筆谷謀長

朝長電第七三九號

九月二十六日頃、釜山―博多仙崎間、復自輸送開始
 元平定丸元当筆谷区轄下指揮下部隊内地ニ基礎ヲ有セザル
 多シラ部隊頭役將校及隊在將校計約二六〇名(航空七〇名
 其外三〇〇名)ハ部隊輸送處理ニ甚大ニ部隊ト共ニ内地ニ輸送
 セザルハカクザルヲ輸送終了後之等將校ノ收容然ル監督指導
 ニ付テ甚慮ヨリ左記所見折返ニ御回答ヲセテ
 一 朝鮮部隊内地歸還完了迄内地軍ニ他管区航空隊司令官

備考 赤線ハ河嶺トス

0175

長 寄 連 冊

三號

備考 前線八洲線トス

復員七九場合ニハ西部軍管区及第六航空軍司令部附ニ到着母
 二轉属元地ノ一按指示アリシニ
 一内地司令部復員員ノコトキ莫キ場合ニハ該地部隊復員
 將校担任部隊ヲ指定又ハ新設アリシ
 三前者不可能場合ニハ内地出張所ヲ福岡ニ置キ將官ヲ長トシ
 所要員ヲ三復員及左事務ヲ擔當セシメ仙崎内司等ト陸
 地ニ其ノ分遣所ヲ設置スルコトイフタリシニ

種類	2	發信地	宛	發信者	日	時	分	電報掛	日	時	分
費用所		受信所	宛	發信者	日	時	分	電報掛	日	時	分
依頼業務		依頼業務									
伝票手											

0176

官長	長官
運	電
帶	

取次
番號

備考、赤線ハ別紙トス

種類	普通
發信地	大田
發信所	宛
發信時間	27日 18時 26分
電掛掛付	27日 20時 10分
電掛掛付	27日 20時 10分
係業手	南田

京城連絡部長官 宛 一 發信者 軍參謀長

朝參 電第七六六號

九月十八日米軍司令官ハ中將ヲ新聞記者トノ會見ニ於テ通貨問題ニ就テ發表セルガ現地朝鮮新聞ニ記載セラレアル事順次ノ如シ

(日本銀行券問題ヲ東京ニテ解決セルモノニシテ先ツ朝鮮銀行券ト日本補助貨幣ノニ通用セシム)

0178

長官		電報	
急		電	
種類	至	急	
發信地	釜山	山	
受通信所	釜山	山	
受電掛付	24日 10時 40分	24日 10時 25分	
主依業			
受電掛付	24日 10時 41分		
作業手	飯森		
京城連絡部長 宛 發信者 釜山電第一七一號 コウネイ丸ギンウ終了後二七日夕刻釜山向ハギ 出帆ノ予定 通電先 大同、京城 此件 北國通款ヨリ「ターリツジ」 大佐ニ連絡スル 24/9 一三〇〇			

備考 赤線ハ判讀トス

0179

官長 馬

種類	發信地	受發付所	日	時	分	電掛掛	日	時	分	依業務	作業手
	牟田 大尉	宛	21	12	50						飯森
筆記電話	電第	號	發信者 高富 大尉								
話氣少將ニ傳ヘラシ度											
仁造釜山出張所ハトウライニ移較ヲ中止シ龜浦											
ニ移較セリ尚人員荷物ノ輸送ハ一昨日完了セリ											
21 13 35 話氣少將ニ傳ヘラシ度											
21 13 35 本村大尉ニ連絡ス											

備考 赤線ハ判讀トス

0180

番		連		官長	
五		下		五	
取扱 番號		發信地		種類	
		釜山		至急	
		受信時		受付所	
		25日 14時 36分		25日 1時 00分	
		電報時		伝票	
		25日 14時 36分		伝票	
		發信者		受取者	
		京城連統部長官宛		釜山要塞司令官	
		發信電第一七六號			
		興府丸の今朝六二〇名塔載仙崎向午帆也リ			
		右ヲ以下兵站宿舎ヲ概テ一掃也リ			
		新タタル到着戰災者昨夜二三五〇名今朝七四〇名ナリ			
		雲仙丸の本日十七時二〇〇名塔載傳			
		多向午帆一房定			
		通電先			
		大田京城			
		釜山要塞			

備考 赤線ハ判讀ス

0181

長官		連		帶	
種類		通		山	
發信所	受信所	24日	18時	30分	依業務
發信所	受信所	24日	19時	00分	電掛掛
依業務		24日	19時	10分	電掛掛
依業務		東京通終局長宛宛 發信者			
<p>本二四日一六〇〇、釜山府内津南着七八〇〇名(交通部函傳 看多入合ムナリ、千ヨハク、一〇〇名搭載一七〇〇仙崎 向今出帆セリ 興安丸 今夕入港、予定 彌朝仙崎向今 出帆、予定</p>					
<p>通電先 大田 京城</p>					
<p>重要電第一七三號</p>					

備考 青線六列讀ム

0182

取換
番號

6

連

官

長

有

備考 赤線ハ判讀トス

種類	至急	發信地	天	安	發信所	受信所	電報掛	發信者	依業務	依業務手
京城連絡部長官宛		25日	16時	25分	25日	16時	58分	發信者 京師參謀長		朝本
兵器申送リノ爲										
司令部山田大尉以下九名未										
米軍ト連絡ノ所										
西慮河度										

電第 號

0183

官長		避		帶	
種類		至		急	
發信地		大田		東京	
受通付		受通付		受通付	
日		27		27	
時		14		14	
分		50		50	
電掛		電掛		電掛	
受電付		受電付		受電付	
日		27		27	
時		14		14	
分		50		50	
依業		依業		依業	
作業手		作業手		作業手	
發信者		發信者		發信者	
東京連終部長官宛		東京連終部長官宛		東京連終部長官宛	
朝參電第七七六號		朝參電第七七六號		朝參電第七七六號	
一、京城、漢南國民學校ニテ、築第一三三七八部隊額賀隊ハ、		一、京城、漢南國民學校ニテ、築第一三三七八部隊額賀隊ハ、		一、京城、漢南國民學校ニテ、築第一三三七八部隊額賀隊ハ、	
朝解神宮ノ乗用車ヲ借用シオリ、トコロニ未詳當局ヨリ還		朝解神宮ノ乗用車ヲ借用シオリ、トコロニ未詳當局ヨリ還		朝解神宮ノ乗用車ヲ借用シオリ、トコロニ未詳當局ヨリ還	
還セザレバ、神宮司ノ身柄ヲ拘束スベシトノ要請アリ		還セザレバ、神宮司ノ身柄ヲ拘束スベシトノ要請アリ		還セザレバ、神宮司ノ身柄ヲ拘束スベシトノ要請アリ	
二、至急車ノ所在、経緯、返還方法等調査トシ、責任者ヲ伴ヒ		二、至急車ノ所在、経緯、返還方法等調査トシ、責任者ヲ伴ヒ		二、至急車ノ所在、経緯、返還方法等調査トシ、責任者ヲ伴ヒ	
九月二十七日正午迄ニ大田軍司令部ニキカレシ、		九月二十七日正午迄ニ大田軍司令部ニキカレシ、		九月二十七日正午迄ニ大田軍司令部ニキカレシ、	
代理者ヲ出頭相成リタシ		代理者ヲ出頭相成リタシ		代理者ヲ出頭相成リタシ	

備考 赤線ハ判讀トス

0184

官長		連		帶	
在		在		在	
種類		至急		大田	
發信所		25日 12時		27日	
受信所		25日 12時		27日	
電掛掛		25日 12時		27日	
電掛付		25日 12時		27日	
依業手		富井			
依業					
京城連絡部長官宛 一 發信者 軍參謀長 朝參 電第七九四號 憲兵集結及安全保護ニ関スルハツ中將ノ指示 ハ本二四日憲兵隊司令官ノ歸着ト共ニ直ニ実行ヲ命 令セリ集結地域ハ大田ニ米軍進駐ヲ予期シテ其ノ東南 地域ヲ選ビヨラセントウトセリ憲兵隊司令官ハ速ニ各 隊長又ハ其ノ代理者ヲ集メテ命令スルハツニシテ集結 準備ノ爲予定地ニ將校ヲ派遣セリ 胡若ス 3.					

備考 赤線ハ別紙トス

二七五

0185

取扱		番號		帶		運		官長	
								石	
發信地		受通付		發付所		受電付		振業手	
京城連絡部長官		宛		宛		發信者		富井	
朝參		電第七九〇號		25日 11時 15分		25日 10時 33分		皆 16分	
左記		左記		左記		左記		左記	
一、有馬山、丸、仁川向航行ニ関シテハ交通電ニ一、運行		計画ヲ認タルヲ以テ概計画通り運行セシメラシ度		二、搭載機材ニ関シ聯合國側ノ意向ハ余席ニ非武装軍人ヲ		優先搭載ヲ希望シアルヲ以テカンヤン、ウ、ハ、ラ決定セラ		度	

備考 赤線ハ新設トス 有馬山 航空 電ニ一、運行

0186

官長		電第		宛		發信者	
種類	發信地	受付所	日	時	分	依業務	作業者
		受付					
<p>三、本船運行ニ関シテハ左ノ件ヲ數字セラレタシ</p> <p>一、合衆國海軍當局依リ制限地区又ハ作戰地域ト指定セラレタル地域ニ立入ザル事</p> <p>又米國又ハ聯國海軍當局指示及命令ニ從フベキ事</p> <p>以上</p>							

備考 赤線ハ判讀トス

0187

276

年白有分
軍

25/9 a.m. 仁可警戒材状況視察概況

25/9 9.00 - 15.00 迄 24A 通信関係將校ウオ

7イ字ノ中尉 (Lt. W. O. P. Hindem) 及ノロマンチ
尉 (Lt. Shawman) ヲ案内ルニテ仁可材

鳥警戒材陣地ヲ視察シタル概況左
ノ如シ

一 器材ハ殆ド破壊ニ盡サレテ全部焼中

タル形跡アリ

器材格納庫ハ破壊シテサテ五ノモ
半分原形ヲ止メタモノ半ノ有リ

二 器材破壊者ト思推セラルモノ

0138

OC CB A

行方

1. 友軍撤退之際、友軍ノ午ノ派リ
 甚去リ、若クハ燒却年ヲナス
 2. 日軍撤退後附近緋人破壊ス
 3. 仁川道駐米軍ノ午ノ派リ破壊ス
 以上ノ2.3ノ内、3ハ公算殆トナシ
 1. 一言ノ立記者
 上記ノ得地下朝鮮李仁明達
 佳職南田直平夫ノ言
 2. 一言ノ立記者
 上記A陣下李鏡也ノ言
 現在ノ部、川、山、向、トヤ不明ナリ
 三米軍上記ニ將校ヲ判断ツカス、結弓内
 傷、技、肝、將、校、指、揮、之、者、ヲ、索、城、ニ、招、致
 也、之、レ、度、ト、ノ、要、也、ナリ。

0189

45

陸軍

森田參謀 水原連絡班 橋本六佐

水原連絡班 明二十一日平澤

駐

五航軍派遣遺精積以下四名及朝

二渡辺隊、在隊、復原

道川 豊端中尉

受 岸田中尉

0190

